

ウエルハーネスだより

180号

理事長からの言葉

早くも梅雨に入ったような日々が続いています。

季節の移り変わりが以前より早くなっているのでしょうか。そうなると7月が一番暑くなるのかなという気がします。

高齢者へのワクチン接種が本格的に始まりました。当施設ではご入居の皆様、職員ともに6月末から7月初めくらいに接種が始まるのではと思われます。めどが立ったら皆様にお知らせしたいと思います。また、職員は定期的に月2回PCR検査を受けています。今の所、全員陰性です。とりあえずワクチン接種が終わるまでは続けていく予定です。

さて、バス旅で人気があった漫画家の蛭子能収さんが認知症になったことはご存知の方も多いと思います。その蛭子さんが認知症と診断されてからの葛藤や、家族・マネージャーへの思い、また妻・悠加さんから見た素顔の蛭子さんなどをまとめた『認知症になった蛭子さん～介護する家族の心が「楽」になる本』を出しました。認知症になってからの周囲の反応や、自身の変化に戸惑う蛭子さんの告白をいくつかご紹介したいと思います。

認知症になって、周囲との間に「隙間」が空いた

2020年7月に、軽い認知症と診断されました。レビー小体型認知症とアルツハイマー型認知症の合併症と言われてもよくわかりません。今の時点では、たしかにボヤーっとする感覚というか、船酔いしているような時があります。それでも体は健康で、足腰も今の所はしっかりしています。隠し事をするのが好きではないので、認知症になったことを公にしましたが、実際はオレの中で何かが変わったわけではありません。ところが認知症を公表してから、オレの周囲の空気がなんか変わったような気がします。たとえば、診断された後に、親しい記者に「認知症って言われたけど、そうじゃないと思うんだよね」と話したら、その人は少し表情をこわばらせて「大丈夫ですよ、大丈夫」と言って目をそらしました。ボケていると診断される前は、空気を読まないオレの言動が「おもしろい」と言われていました。でもオレ自身は変わっていないけど、認知症になってからは、あまり笑ってくれなくなった気がします。ちょっと寂しいですね。

ありのままを、笑ってほしい

このところは幻視があり、洗濯物カゴが床に倒れている女房に見えたり、本物の本が燃



上尾市向山1-14-7
社会福祉法人 竹柿会
TEL: 048-782-0575
FAX: 048-782-0590
令和3年5月25日発行

えているように見えたりしたことがあって大騒ぎしたことが何回かありました。認知症を公表したのは、少しでもオレの世話をする女房の負担が減ればいいなと思ったからです。認知症であるありのままの姿を見て、それでも稼いでいこうという考えは、あまり理解されないかもしれません。でも女房もマネージャーも応援してくれます。「その姿に勇気づけられる人がいる」とも言ってくれますが、別にどうでもいいことです。でも、もうちょっとがんばってみようと思います。

今まで言えなかつた「ありがとう」

最近は、家から離れると、すぐに、早く帰りたい、早く帰りたいと、たまらなくなってしまいます。これも認知症のせいかもしれません、とにかく、女房といろいろな話をしたり、笑いあつたりする時間が楽しいんですよね。ショートステイすることがたまにあるんですが、隣に女房がいないとすごく寂しいです。「寂しい」と女房にちゃんと言うようにしています。「ありがとう」という言葉も、なるべく言うようにしています。前までは「ありがとう」と口にすることはありませんでした。言わなくてもわかるだろうと思っていたかもしれません。ありがとうと言うと、女房は喜んでくれます。オレは、女房が喜ぶ顔を見るのが、すごく好きです。今まで言えなかつたことが言えるようになったのも、認知症のおかげかもしれません。

4～5月の行事

特養では、柏餅やゼリーなどを召し上がっていただいた他、玄関の兜の前で記念写真を撮り端午の節句を感じて頂きました。また、季節の絵柄を貼ったり、飾り作りをしたりする、お茶会をおこなったユニットもありました。

デイでは、フェルトをくるくる丸めて、バラの小物作りを行いました。また、紅組・白組に分かれて、向山運動会を開催しました。タオルでポンやボーリングピン倒し、玉入れなどを行いました。

5～6月の予定

6/21（月）は、夏至の行事食として「天丼・すまし汁・茶碗蒸し・ほうれん草の白和え・紫陽花ゼリー」を召し上がって頂きます。

特養では、父の日のレクをユニット毎に考えています。また、プレゼントをお渡ししたりケーキを召し上がっていただく誕生日会を計画しています。



デイでは、魚釣りや金魚鉢作りを行います。また、丸山公園へ菖蒲を見にドライブを予定しています。



特養 貼り絵レク

